



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 田中精密工業株式会社

コード番号 7218 URL <https://www.tanasei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 田中 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 沖 健司 TEL 076-469-9107

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	23,917	13.5	906	12.8	1,514	68.8	214	3.7
2022年3月期第3四半期	21,075	15.7	804	-	896	-	206	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,946百万円 (357.6%) 2022年3月期第3四半期 425百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.97	-
2022年3月期第3四半期	21.18	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	37,697	24,054	46.8	1,808.94
2022年3月期	36,842	22,722	44.8	1,690.72

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 17,656百万円 2022年3月期 16,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
2023年3月期	-	4.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	4.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	12.2	1,500	15.6	2,100	62.6	700	87.3	71.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	9,763,600株	2022年3月期	9,763,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,855株	2022年3月期	2,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,760,745株	2022年3月期3Q	9,760,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う資源価格の高騰や急激な円安の進行、及び中国のコロナ政策による混乱等、先行き不透明な状況が依然続いております。その影響から、取引先である自動車業界は、半導体不足等によるサプライチェーンの混乱からの顧客における生産調整により、北米と欧州については供給の制約が引き続き影響し、販売台数は減少いたしました。中国市場の回復により、全世界の販売台数は昨年と同水準で推移いたしました。

このような環境の中、売上高につきましては、サプライチェーンの混乱からの顧客における生産調整による減収はありましたものの、モビリティ事業の拡大及び為替換算影響により、23,917百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。損益につきましては、減産影響及び資源価格高騰影響はありましたものの、構造改革実施等に伴う固定費削減及び為替換算影響により、営業利益906百万円（前年同四半期比12.8%増）、米国子会社において税額控除の還付を営業外収益に計上したことにより、経常利益1,514百万円（前年同四半期比68.8%増）、繰延税金負債を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益214百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、機能別の本部制から事業部制へと組織体制を変更したことに伴い、報告セグメントを変更しております。それに伴い、当期並びに前年同期の実績値を変更後のセグメント区分に組み替えて表記しております。

① 部品製造事業

売上高につきましては、サプライチェーンの混乱による顧客での生産調整がありましたものの、電動化領域におけるアルミ部品等の新規立上り部品による増収及び為替換算影響により19,161百万円（前年同四半期比9.6%増）となり、損益につきましては、減産影響及び資源価格高騰影響はありましたものの、構造改革実施等に伴う固定費削減及び為替換算影響により913百万円のセグメント利益（前年同四半期比30.7%増）となりました。

② モビリティ事業

売上高につきましては、慢性的な部品供給不足による納期遅れはありましたものの、店舗増加及び二輪販売事業拡大、中古車価格高騰影響により4,392百万円（前年同四半期比25.8%増）となり、損益につきましては、一時的な固定費の増加により107百万円のセグメント利益（前年同四半期比5.2%減）となりました。

③ ソリューション事業

売上高につきましては、FA関連設備の販売、接着積層モーターコアの試作等により364百万円（前年同四半期はセグメント売上高108百万円）となり、損益につきましては、開発費用の増加により190百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益32百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ855百万円増加し、37,697百万円となりました。負債の部では、有利子負債の減少等により、476百万円減少し、13,642百万円となりました。なお、純資産の部では、為替換算調整勘定の増加等により、1,331百万円増加し、24,054百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2022年10月31日に公表いたしました業績予想から変更いたしました。詳細につきましては、本日（2023年1月31日）公表いたしました「繰延税金負債の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,821,027	7,272,436
受取手形及び売掛金	3,528,591	3,405,924
商品及び製品	1,650,429	1,880,215
仕掛品	1,339,540	1,510,416
原材料及び貯蔵品	3,098,486	3,391,086
その他	307,319	876,419
流動資産合計	16,745,395	18,336,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,251,987	6,565,956
機械装置及び運搬具(純額)	7,186,702	6,418,362
土地	2,375,611	2,717,633
その他(純額)	841,603	649,821
有形固定資産合計	16,655,905	16,351,772
無形固定資産		
のれん	—	110,040
その他	195,188	167,842
無形固定資産合計	195,188	277,883
投資その他の資産		
投資有価証券	2,796,737	2,139,799
その他	448,975	591,522
投資その他の資産合計	3,245,713	2,731,322
固定資産合計	20,096,807	19,360,978
資産合計	36,842,203	37,697,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,411	1,653,624
電子記録債務	472,345	596,486
短期借入金	2,720,000	3,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,626,948	1,701,651
未払法人税等	194,328	112,212
その他	3,088,370	2,971,694
流動負債合計	9,739,403	10,135,668
固定負債		
長期借入金	3,308,332	2,141,385
退職給付に係る負債	137,735	113,939
資産除去債務	94,549	101,445
その他	839,206	1,150,122
固定負債合計	4,379,824	3,506,892
負債合計	14,119,227	13,642,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	13,121,076	13,267,179
自己株式	△2,668	△2,668
株主資本合計	13,942,831	14,088,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618,450	515,627
為替換算調整勘定	1,941,379	3,052,072
その他の包括利益累計額合計	2,559,830	3,567,699
非支配株主持分	6,220,313	6,398,282
純資産合計	22,722,975	24,054,916
負債純資産合計	36,842,203	37,697,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,075,871	23,917,846
売上原価	17,848,912	20,391,103
売上総利益	3,226,959	3,526,743
販売費及び一般管理費	2,422,747	2,619,814
営業利益	804,211	906,928
営業外収益		
受取利息	29,455	43,420
受取配当金	66,806	74,787
受取補償金	39,664	—
受取還付金	—	549,902
その他	37,901	17,442
営業外収益合計	173,828	685,554
営業外費用		
支払利息	48,044	50,048
為替差損	28,286	25,455
その他	4,724	2,801
営業外費用合計	81,056	78,305
経常利益	896,984	1,514,177
特別利益		
固定資産売却益	74,283	19,081
特別利益合計	74,283	19,081
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	7,965	25,581
減損損失	2,653	—
特別退職金	647,726	—
ゴルフ会員権売却損	1,018	—
特別損失合計	659,363	25,584
税金等調整前四半期純利益	311,904	1,507,673
法人税等	127,202	921,675
四半期純利益	184,702	585,998
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,077	371,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	206,779	214,428

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	184,702	585,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,489	△105,295
為替換算調整勘定	315,025	1,465,649
退職給付に係る調整額	△19,911	—
その他の包括利益合計	240,624	1,360,353
四半期包括利益	425,326	1,946,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	408,701	1,222,297
非支配株主に係る四半期包括利益	16,625	724,054

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の連結財務諸表の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大影響の仮定について重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第3四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	部品製造 事業	ソリューション 事業	モビリティ 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	17,475,781	108,411	3,491,678	21,075,871	-	21,075,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,018	501,041	5,950	509,010	△509,010	-
計	17,477,799	609,452	3,497,629	21,584,882	△509,010	21,075,871
セグメント利益又は 損失(△)	698,990	32,089	113,278	844,357	△40,145	804,211

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	844,357
セグメント間取引消去	11,900
有形固定資産の未実現利益の調整額	△52,046
四半期連結損益計算書の営業利益	804,211

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	部品製造 事業	ソリューション 事業	モビリティ 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	19,161,498	364,292	4,392,056	23,917,846	—	23,917,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,168	62,677	2,682	80,527	△80,527	—
計	19,176,666	426,969	4,394,738	23,998,374	△80,527	23,917,846
セグメント利益又は 損失(△)	913,449	△190,880	107,374	829,943	76,985	906,928

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	829,943
セグメント間取引消去	7,344
有形固定資産の未実現利益の調整額	69,641
四半期連結損益計算書の営業利益	906,928

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、これまでの機能別の本部制から事業部制へと組織体制を変更したことに伴い、従来「日本」「米国」「タイ」及び「ベトナム」としていた報告セグメントを、「部品製造事業」「ソリューション事業」及び「モビリティ事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。